



美しい飾りに思いを込めて
手まり・さげものの会

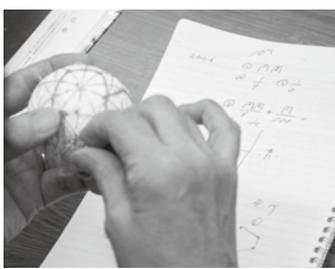
柳川市に伝わる「さげもん」。2個の大きな手まりを吊るし、その周りを囲むように、小さなまりや人形などを49個吊るします。女の子の初節句のお祝いに贈る風習があり、全部で51個の飾りの数にはかつて「人生50年」と言われた時代、「少しでも長生きできるように」という願いが込められたと言われていました。

きれいな手まりを作るのに重要なのが、模様を作るための案内線となる糸を縫い付ける「地割り」という作業。失敗するとその後の作業に響くため、ミリ単位の正確な地割りが肝要です。電卓を用いたり、ノートに計算式を書いたり、手先を使った作業に加えて脳もフル回転させます。「認知症防止になりますよ」と皆さんは話します。作業を家で続ける人もいれば、集まった時にしか作れない人も。ペースはさまざまですが、飾り物は簡単でできる物から数十時間かかる物まであります。「ここでは、干支(えと)や季節に応じた飾り物を自分のペースでゆくり楽しめますよ」と先生は話します。

「作品は孫のためにひな飾りと一緒に飾りますよ」「女の子の孫ができたらと思って作ったら、生まれた孫がみんな男の子だね」と笑って話す皆さん。それぞれの思いを込めて、楽しみながらゆくりと、縫い続けます。

手まり・さげものの会

- 活動日時・場所 第1・3木曜日(10時～12時または13時～15時)、二日市コミュニティセンター
- 連絡先 橘☎090(2397)5005



掲載希望を募集します

このコーナーへ掲載を希望するクラブやサークルを募集します。対象は、筑紫野市民を中心に市内で活動している社会教育団体で、営利目的・会費の一部が主催者や上部団体の収入になるものを除きます。詳しくは問い合わせください。 ● 問い合わせ先 秘書広報課広報広聴担当